

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 30日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県高市郡明日香村大字岡580番地

氏 名 松好建設株式会社 代表取締役松本好清

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-54-2659

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

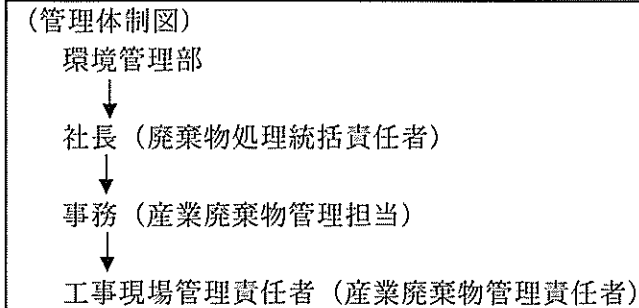
事業場の名称	松好建設株式会社
事業場の所在地	奈良県高市郡明日香村大字岡580番地
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 27,980万円
③ 従業員数	10人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 (基礎工事) 汚泥→中間処理業者に委託し、脱水、造粒固化後再生。 (建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 ( 4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	976 t	55 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
	排出量	11 t	1 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	排出量	0.23 t	7 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排出量	30 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	950 t	50 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
	排出量	10 t	0.5 t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	排出量	0.2 t	5 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排出量	25 t	t
	(今後実施する予定の取組) 工法の改善による産業廃棄物の減少		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類はそれぞれ分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック類はそれぞれ分別し、保管する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
実施する予定はない			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施する予定はない		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 4年度）実績】			
産業廃棄物の種類	がれき類		木くず
全処理委託量	976	t	55 t
優良認定処理業者への処理委託量	265	t	18 t
再生利用業者への処理委託量	976	t	54 t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0 t
産業廃棄物の種類	金属くず		建設汚泥
全処理委託量	11	t	1 t
優良認定処理業者への処理委託量	3	t	0 t
再生利用業者への処理委託量	6	t	1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0 t
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物		ガラス・陶磁器くず
全処理委託量	0.23	t	7 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.23	t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0	t	5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	0 t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		
全処理委託量	30	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0	t	t
再生利用業者への処理委託量	0	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	t
①現状			
(これまでに実施した取組)			
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	950 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	250 t	20 t
	再生利用業者への処理委託量	950 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥
	全処理委託量	10 t	0.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5 t	0.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	0.2 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全処理委託量	25 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。			
※事務処理欄			